



市内のがんばるものづくり企業を紹介します だいせんものづくり図鑑

no.02

協和精密工業株式会社(石川光男代表取締役)は、昭和39年に東京都町田市に協和精密工業所として創業。40年に会社化し、61年に本社工場長が旧西仙北町出身という縁で秋田工場(西仙北)を設立。平成2年に同工場を2倍に拡張し現在に至っています。

製造しているのは、工具や治具(工作機械に付属しているもので、加工や組立ての際、部品や工具の作業位置を指示・誘導するために用いる器具のこと)、プレス型、産業用機械の精密部品など。セールスポイントは工員の卓越した技術力で、旋盤を駆使したものづくりに定評があり、製造が難しいとされる単品生産・少量生産の

注文にも応じています。例えば、生産がすでに終了している自動車の一部品や、設計書が一部しかない機械部品のように、普通のやり方では作ることができない難しい注文にも、経験と実績に裏打ちされた工作技術で対応。その品質の高さと、どんな注文に対しても前向きに取り組む企業の姿勢に県内外の取引先から信頼を得ており、国内大手企業と商社の仲介なしに直接取引できるのが強みです。

同社では、商品価値を高める上でも工員の技術力向上を重要視しており、従業員の資格取得や技能検定の受検などを支援しています。



創意を技術でカタチに

株式会社協和精密工業(西仙北)

製造品目/プレス型、各種精密部品など

従業員数/40人(秋田工場[西仙北])

★今回の案内人は常務取締役の高村孝栄さん